

平成29年度 教育委員会事務局長「政策宣言」達成状況

教育委員会事務局長 稲垣和成

○ 平成29年度重要事業

事業名	質が高く信頼される教育の実践
目 標	基礎学力と学習習慣を定着させるため、小・中学校で補充学習を中心とした「学び応援塾」を実施します。また、外国語活動や英語授業の充実を図るため、電子黒板付きプロジェクターを小・中学校に配備します。このほか、不登校対策の一つとしてリアルタイム授業などのICTを活用した事業を行います。
年度末達成状況	学び応援塾は小学校で4校、中学校は夏休み期間中に全校で実施しました。また、電子黒板付きプロジェクターは小学校に15台、中学校に14台配備しました。 不登校対策として、ICTを活用したリアルタイム授業を実施しました。
自己評価	教育機器の配備により、質の高い教育の実践につながりました。また、不登校対策については一定の効果があったと考えています。

事業名	教育環境の整備
目 標	片口小学校特別教室棟、歌の森小学校及び小杉南中学校校舎棟の大規模改造工事を実施するほか、塚原小学校、大島小学校及び射北中学校グラウンドの改修工事に取り組みます。また、大門中学校校舎棟等の長寿命化改良工事に向けて実施計画書を作成します。
年度末達成状況	大規模改造工事等は順調に進捗し、供用しています。また、大門中学校長寿命化改良工事については、来年度の工事着手に向けて準備を進めています。
自己評価	概ね計画どおりに進捗し、教育環境の向上につながったと考えています。

事業名	スポーツの振興
目 標	海王丸パークや新湊大橋を走る「富山マラソン2017」、日本一楽しいヨットレースと言われる「タモリカップ2017」など、スポーツイベントを通じて本市の魅力を全国に積極的に発信します。 また、トップスポーツと地域スポーツの好循環を促し、市民スポーツの推進を図るため、スポーツ推進コーディネーターを配置します。
年度末達成状況	各スポーツイベントには県内外から多くの方の参加をいただき、本市の魅力アップとともに、本市を全国に発信しました。 スポーツ推進コーディネーターについては、来年度に1人配置します。
自己評価	スポーツイベントを通して、本市の魅力アップが図られました。また、スポーツ推進コーディネーターの配置により、今後の

	スポーツ推進への期待が大きくなったと考えています。
--	---------------------------